

CSR マネジメント

当社は「病気と苦痛に対する
人間の闘いのために」という企業理念のもと、
本業である有効で安全な医薬品の開発を通じて
社会に貢献することを使命と考えています。



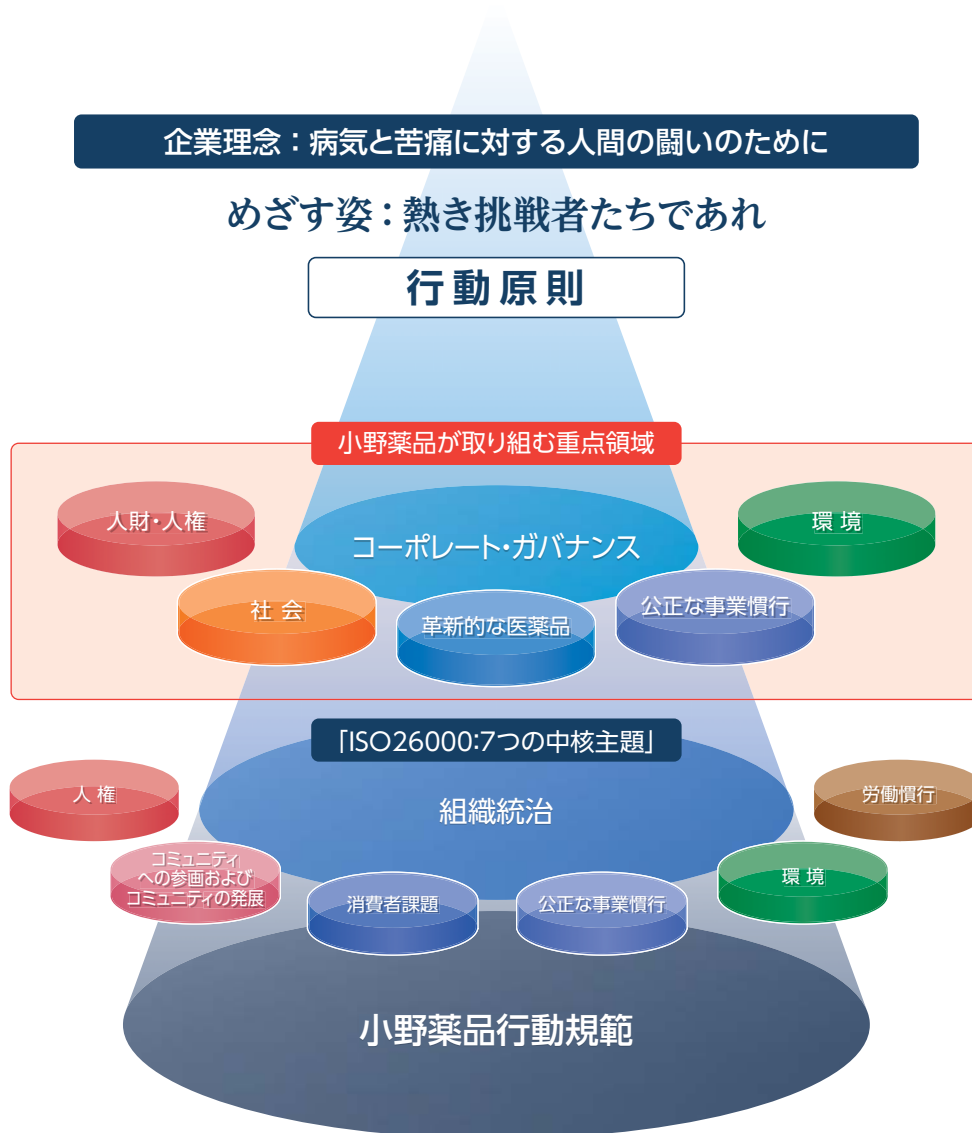
「小野薬品行動規範」に基づき
土台となるコーポレートガバナンスを含めた
6つの重点領域を定め、
CSR委員会を中心に、社を挙げて
CSR活動に取り組んでいます。



企業理念と行動規範に基づき6つの重点領域を定め、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献します。

小野薬品のCSR経営とは

当社は、1717年(享保2)の創業以来、今日まで薬業一筋に長い歴史を築いてきました。これは「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもとに、より有効でより安全な新薬の開発に真摯に取り組んできた努力が社会に評価された結果であると確信しています。当社は、今後も患者さんにとって真に役立つ新薬の開発に、国際的視野に立って全力を挙げて取り組み続けていくとともに、企業の社会性を自覚し、節度ある事業活動を進めていきます。また、関係法規の遵守はもとより、率先して高い倫理観をもって以下の「小野薬品行動規範」に基づき行動します。



小野薬品行動規範

1. わたしたちは、人々の医療に役立つ有効性と安全性に優れた質の高い医薬品を開発し、必要な情報とともに社会に提供します。
2. わたしたちは、事業活動のあらゆる側面においてすべての人々の人権を尊重し行動します。
3. わたしたちは、事業活動のあらゆる分野において法を遵守し社会との公正な関係の保持に努めます。
4. わたしたちは、事業活動のあらゆる分野において地球環境を守るための努力をします。
5. わたしたちは、透明性の高い経営を目指すとともに事業活動に関する情報を積極的に開示します。
6. わたしたちは、企業市民として社会との調和を図ります。

当社は、CSR経営の基本に上記行動規範を掲げ、基盤となるコーポレート・ガバナンスを強化するとともにコンプライアンス体制を推進し、「革新的な医薬品」「人財・人権」「環境」「公正な事業慣行」「社会」を取り組むべき重点領域として取り上げ、CSR報告書として情報を開示することでステークホルダーに対する説明責任を果たしていきます。

小野薬品が取り組む重点領域

コーポレート・ガバナンス

当社は、企業価値の向上を図るために、法令順守はもとより、経営における透明性を高め経営管理機能を強化することが重要な課題であると考えています。そのために、監査役(会)設置型の経営機構を採用し、取締役会および監査役会の機能強化を中心としたコーポレート・ガバナンスの充実を図っています。

革新的な医薬品

当社は、持続的成長のためには開発パイプラインを拡充し、継続的に新薬を市場に送り出していくことが不可欠であると考えています。世界最先端の独自の技術を活用した画期的な医薬品創製を進めるとともに、医療ニーズの高い疾患に対する魅力ある新薬候補化合物の導入を目指して積極的なライセンス活動に注力していく、この両輪により、真に患者さんのためになる医薬品を届けます。

人財・人権

「企業は人なり」と考え、一人ひとりの能力の啓発と失敗をおそれない前向きな取り組みを積極的に支援し、個人の能力が最大限に発揮され、企業と社員が共生できる社内環境づくりと安全衛生の取り組みを推進しています。また、当社は、人権が尊重される社会を大切にし、社の内外を問わず人種、国籍、民族、性別、年齢、宗教、信条、思想、学歴、障害、疾病等による差別の無い企業を目指します。

環境

当社は、環境に対する企業の社会的責任を認識し、事業活動のあらゆる分野において環境に配慮した活動を行うことにより、豊かな地球環境実現に向けて努力します。

全社員参加のもとで、環境問題の理解に努め、環境にかかわるさまざまな活動を推進しています。

公正な事業慣行

当社は、事業活動のあらゆる分野において、すべての人々の人権を尊重した行動を行い、法令を遵守し社会との公正な関係の保持に努めることを「小野薬品行動規範」に謳っています。医療関係者、お取引先および政治・行政などとの健全、公正かつ透明な関係を確立・保持するため、この規範に基づく社員への教育を徹底し、コンプライアンスの強化に努めています。

社会

当社は、真に患者さんのためになる医薬品を一途に追求し、開発に取り組んでいます。また、医薬品開発に加え、疾患や治療についての情報発信や将来の医療を担う人材育成への協力を通じて、社会的存在価値を高めていきます。

さらに、常に誠実な姿勢で社会に接し、地域企業市民として社会との調和と取って行動します。

重点領域の特定の方法

- ① 「小野薬品行動規範」は、高い倫理観に基づいた6つの観点から企業のあるべき姿を示しています。
- ② 社会が抱える課題について、当社に義務付けられている課題、協力が求められている課題、間接的に貢献しうる課題に対してCSR経営の検討課題を整理しています。
- ③ 整理した課題については、取り組みの進捗状況や社会からの要請により追加すべき課題や取り組みを強化すべき課題について見直しと検証を行います。

CSR推進体制

当社では、CSR活動の推進を遂行するために、「CSR委員会」を設置しています。CSR委員会は、取締役経営管理本部長を委員長とする幅広い部門の責任者を中心に構成されています。CSR委員会では、当社が定めた

CSR活動の6つの重点領域である「コーポレート・ガバナンス」「革新的な医薬品」「人財・人権」「環境」「公正な事業慣行」「社会」における重要課題・案件を審議・決定し、その活動状況は定期的に経営層へ報告されます。

